

西新宿七丁目町会 青年部ニュース

No. 33

総会

佐藤豊氏が新部長に

青年部編集

昨年の十月十七日、町会会館で六年度の総会を開催、任期満了で嶋村好彦部長が退任し、新たに佐藤豊副部長が部長に就任した。

嶋村前部長は、青年部の長年の課題となっていた定年制問題について、「現行の四十五歳定年制廃止」を果敢に決断、後任の佐藤新部長に憂いを残すことなく爽やかに部長職の任期を降した。

このほか、今まで春に行っていたリクレエーションを、子供達や中・高校生、高齢の方々もすべて参加できるようスキー旅行

に変更したのも嶋村前部長の存任中だった。また、青年部活動を奥様方に理解してもらおうと、年末にはクリスマスパーティーを開き、学齢前の子供達と奥様を交え、青年部の集まりには珍しい華やいだ雰囲気を出したのも前部長だ。

新たに就任した佐藤・新青年部部長、前部長が諸々のことを新たに始めたため、それらを継承・発展させなければならぬという宿命を最初から背負うことになった。

当面は定年制廃止に伴う細かな規約づくりやその周知に全力を傾ける。

しかし、先代の故・知治氏から家業の干徳食品を継ぎ、今や新宿と言わず城西地域全域に名前を広めつつある新部長、何かをやりそうだ。

部 長	佐藤 豊
副 部 長	石川 謙一
"	田中 伸幸
"	新谷 巧
総務部長	石川 時義
同副部長	清水 孝
"	関根 利博
広報部長	土屋 三郎
同副部長	笹生 慎一郎
書記部長	林 英夫
同 補 佐	永嶋 靖久
編集部長	城市 隆門
同副部長	清水 学
会 計	大塚 康弘
同 補 佐	渡辺 望博
会計監査	嶋村 好彦
"	浜田 英世

総 会			
収 入 金		支 出 金	
寄附金	228,000		355,775
部 費 費 り	127,775		
	355,775		355,775

祭礼

勇姿を全国に放映

町会長 佐々木憲一

恒例の成子天神社大祭が、九月二十三日～二十五日挙行されました。
今年も例年通り？ 二十二日の設営の日
は雨。鎌田宮司のお話では、天神様は雷神様だそうです。それで祭礼には雨が降ること。本土への台風上陸も記録の更新かと心配される天候です。

いよいよお神輿巡行の当日、正午、子供さんたちが集っている。中・小神輿と大太鼓の町内渡御は、降雨のため役員協議の上中止と決定。子供さんの顔が恨めしそうだ。しかし、お楽しみの「お菓子、ナシ、せんべい、アイスクリーム」を渡され、雨の中でそれらを食べながら大喜び。
大神輿は過去二回、大嵐の中でも巡行している。また、町内七カ所の接待所では、それぞれ嗜好をこらして皆様が待っている。雨は小止みなく降る。

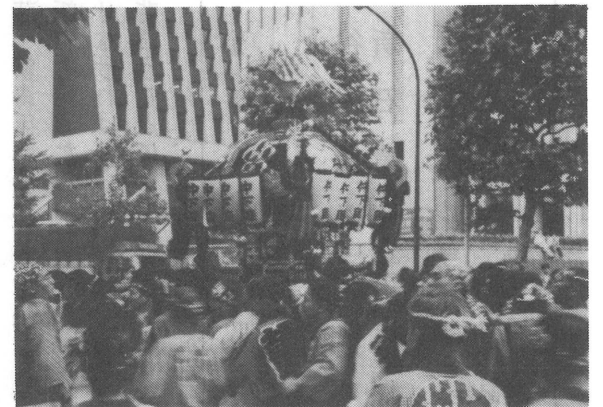
午後三時、柏木公園出発、町内巡行実

施”を決定。その打合せの最中、日本テレビが取材に訪れる。

渡辺謙主演、新藤兼人監督の「火曜サスペンス劇場 我が町PART3」の劇中、是非、仲下睦の神輿渡御の勇姿を放映したいとのこと。即座にOKする。

嶋村青年部長の音頭で出発、全国数多いお神輿の中でも（我田引水ではありませんが）我が仲下睦の渡御ほど整然として、「ワッショイ」の掛声と共に一糸乱れぬ担手はいないと自負している。

今年の祭礼は、バブル崩壊後二年余の景気低迷、住民の減少等大変心配していたが、



超高層をバックに「ワッショイ」

さすが我が町、例年通りの御奉納、また、各地区有志の皆様のご接待所の歓待等、これも諸先輩方の街作りのたまものと、感謝の言葉もあります。

常々、町会と仲下睦は車の両輪と申し上げていますが、それぞれ独立の会計で運営されています。係わる幹事、役員、世話人さんは皆さん同じ人です。そうした中、高齢化社会を迎えた今、青年部の皆様に期待し、お願いすることも多々あります。

これからも、青年部の益々の隆盛、御発展を心より御祈念申し上げます。

随感

垣根の無い町会作り

前・青年部長 嶋村 好彦

定年制廃止を決定!!

早いもので、私が青年部長に就任してからアッと言う間に二年間が過ぎ去りました。在任中は部員の皆さん、OBの皆さん、町会の皆さん方の御協力で、何とか任務を遂行することができました。本当にありがとうございました。

この間、一昨年十月の総会に於いて、二時間もの時間をかけ、質疑応答を繰り返して、昨年三月七日に臨時総会を開いて出席部員全員の賛成により、十数年間続いた青年部の定年制を廃止することになりました。

このことは、これからの青年部活動に於いて、人員の確保、維持が難しい時代とな

ってきましたので、願わくば青年部、町会の活性化のため、垣根の無い町会作りに役立てればと思う部員達の総意であります。皆様の暖かい御理解と御支援をお願い致します。

幸いにも、私の後任に佐藤豊さんという立派な方が新・青年部長に就任して下さいました。私としても若い青年部員を育て、青年部と町会の掛け橋となるよう努力していく所存であります。

町会と青年部の益々の発展を御祈念いたします。



ごくろうさまでした

オービー親睦会

納涼会など大成功

前・OB会長 会田友太郎

青年部の皆様には、平素より色々とお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。
さて、私も皆様方の協力のおかげで六代目の会長の責務を務めることができました。この場を借りて、歴代の会長を紹介させていただきます。

「初代」荒井保次様、「二代目」小見山猛様、「三代目」小林佳直様、「四代目」渡辺昭治様、「五代目」大塚敏男様、そして六代目が私です。



歴代の会長さんたちの御指導を頂き、親睦を主体とした運営、青年部及び町会の運営にも協力して参りました。私はオービー会の行事に際しましては、一人でも多くの方が参加して頂けるよう企画運営に努力してきました。

特に、納涼親睦会、旅行会、花見等は私の任期中に開催した行事の中で成功したものと深く印象に残っております。二年間の在任中、皆様方に大変御世話になりました。



母、息子、孫ではありません

ことを、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。
新たな会長には宮島右近さんが就任しました。青年部の皆様の益々の発展と御健勝を祈念致します。

納涼

町会創立
三十周年祝賀

町会副会長 尾澤 孝宜

私達七丁目の町会創立三十周年記念祝賀会が、一昨年十一月六日(金)、京王プラザホテルで開催されました。

町会の皆さんはもとより青年部の皆さんにも参加していただき、また、小野田隆新宿区長さんをはじめ議員の諸先生方、関係諸団体、近隣の町会長さん、金融機関の方々など、各方面から多数御出席いただき盛大に開催することができました。青年部の皆さんにもご協力いただき、大変ありがとうございました。

日頃から青年部の皆さんには、町会行事や町会活動に積極的に参加していただいておりますが、町会行事、特に総会、新年会等は、平日の早い時間帯に設定されることが多く、第一線での仕事を持つ青年部員の皆さんには参加しづらい時間帯になってしまっているのが残念です。
いろいろな事情で平日開催になってしま

うのではないかと思います。地域住民の絆を深めることが町会活動の目的のひとつではないかと思っております。
青年部の皆さんが参加しやすいよう、土

青年部活動

相互の切磋琢磨で町会に寄与

大塚 康弘

昨年は地震、長い梅雨、台風、集中豪雨と大変な年でありました。ようやく秋晴れが続くようになった十月、七丁目青年部も二十三年目を迎えることになりました。
青年部は町会の元で活動している団体で、その活動は広い範囲にわたっています。本日はこの紙面をお借りして、七丁目青年部の活動を報告させていただきます。

規約第四条、「本青年部は部員の親睦並びに部員相互の切磋琢磨をはかるとともに、七丁目町会の発展に寄与するを以て目的とする」にあるように、青年部はこの規約に則って活動しています。

町会行事への参加では防災活動、冬期夜間パトロール、交通パトロール、仲睦大祭、盆踊り、夏期ラジオ体操など、部員の親睦に於てはリクリエーション(今年は日帰りスキー旅行)、柏木公園での縁日、各種同好会(旅行、ゴルフ、野球、麻雀など)、その他親睦会等です。

今後とも、私を含め全員精力的に活動していくつもりです。よろしくお願い致します。

総会

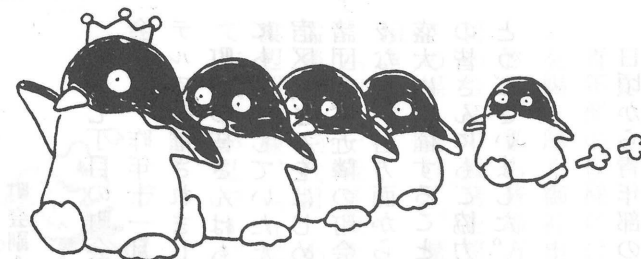
定年制で意見続出

石川 時義

第二十二回目の青年部総会及び懇親会が、一昨年十月二十五日午後一時から、多数の部員が出席して町会会館で開催されました。

石川謙一副部長の司会で、土屋三郎副部長の開会の辞、嶋村部長の挨拶に続いて議長に佐藤豊氏を選出、事業経過報告、会計報告、会計監査報告、次いで事業計画案、予算案の説明と各担当役員からの報告が、例年通り滞り無く終了しました。

次いで質疑応答です。城市氏から「定年



制廃止」について議題が出ました。この問題はかねてから事ある毎に取り沙汰されている問題で、青年部にとり避けて通ることのできない重要な問題です。

いろいろな意見が出ました。ここに羅列します。
(1)定年になった人は退部できるのか(2)役職には付けるのか(3)ブロック幹事位の役職はやらなくてもらうべき(4)四十五歳を過ぎて何もしなくなるのは青年部員に負担がかかりすぎる(5)定年制は存続すべき(6)若い人の出席を促す(7)集金が大変だ(8)定例会出席者の人数からみて廃止は仕方ない——等々、いろいろ論議されました。その結果、採決に移り、定年制廃止問題は多数の賛成で可決されました。

議長より、詳細については後日の定例、臨時部会で詰めていくことが示され、最後に、新谷氏の閉会の辞で総会を終えました。

引き続き、町会長をはじめ町会役員、招待者、青年部員ら多数が出席して懇親会が始まり、濱田、新谷両氏の名コンビの司会で来賓の方々の祝辞、乾杯、隣接町会青年部の紹介、そして、恒例の「森井さんのビンゴ」で場を盛り上げる中、前青年部長の川原康之さんの中で、無事閉会となりました。

新たに青年部員となって

「ナガシマ」ですノ

永嶋 靖久

七丁目町会の皆さん、こんにちは。このたび新たに青年部員となりました。限りなく「中年」に近づいている「ナガシマ」と申します。

「オギャー」と生まれて三十六年間、この地域にお世話になりながら、今まで町会のお役に立てずにおりましたが、石川(時)さんらの熱心な勧誘攻勢に会い、自主参加とは程遠い形ではありますが参加することになりました。

昨年の二月二十七日、青年部会合初出席の日。

前日、石川さんより、「明日夜九時、梅寿司さんですよ」と確認の電話。その淡々とした口調の中にも、「何がなんでも参加させるぞ」という気合いが感じられ、これは耽て出ない訳にはいかない、と心に決し、梅寿司さんに足を運ぶ自分がありました。

どんな人たちが来るのだろうか、うまく溶け込めるのだろうか、と新参者としてはやや緊張気味？ でしたが、そこは嶋村部長(当時)の和気あいあいと楽しくやりましょう、という方針が行き届いているのか皆さん優しく私を受け入れてくれ有難く思いました。

それにしても、もっと多くの人が集まるのかなと思っていたら、十数名とは意外と少ない。いつもこんなものだという。人員不足、資金不足の中で町会のために働いている嶋村部長や少数精鋭の先輩部員のことを思うと、耽々欠席しようとしていた自分が恥ずかしい。八月の子供縁日には協力しようとして心に残りました。

八月二十九日、青年部主催の子供縁日。暑期中、開始三時間前の朝九時から町会の皆さんが力を合わせ会場作りに励む。昨年まで子供を連れてブラブラと遊びに行っていただけの私には初めての光景でした。こうした地味な努力が子供たちを楽しませ、青年部、そして町会の皆さんの連帯感や信頼感を育んでいたのですね。

西新宿七丁目町会青年部 平成6年度収支計画書

自 平成5年10月1日
至 平成6年9月30日

収入の部		支出の部	
費用	金額	費用	金額
前期繰越金	752,258	総会費	440,000
部費収入 昨年度未収金	240,000	厚生費	1,800,000
部費収入 (6,000×69名)	414,000	会場費	60,000
特別会費・縁日売上	1,500,000	印刷費(青年部ニュース)	200,000
町会補助金	400,000	事務通信費	80,000
		交際費	300,000
		予備費	426,258
合計	3,306,258	合計	3,306,258

西新宿七丁目町会青年部 平成5年度収支計算書

自 平成4年10月1日
至 平成5年9月30日

収入の部		支出の部	
費用	金額	費用	金額
前期繰越金	313,219	総会費	355,775
部費収入 昨年度未収金	237,305	厚生費	1,244,882
部費収入 今年前区分	207,000	会場費	42,000
部費収入 今年後区分	2B未収 195,000	事務通信費	5,545
特別会費	20,228	Tシャツ(50枚)	68,000
スキバ会費	466,000	印刷費(ニュース)	123,600
縁日売上	109,908	交際費	182,000
町会補助金	675,400	次期繰越金	752,258
今年度分	150,000		
今年度分	400,000		
合計	2,774,060		2,774,060



腹話術の人形に子供達の目は真剣

青年部長 佐藤 豊

鳩とキャベツ

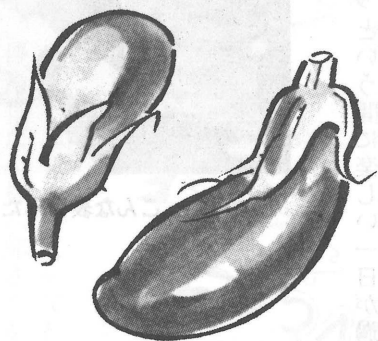
縁 日



野菜を見る目が例年と違う

第十六回目を迎えた、青年部主催「子供縁日」が八月二十九日(日)、柏木公園で開催されました。

昨年は台風の当たり年で、部員一同雨を心配しておりましたが、当日は朝から大変天気が良く、毎年御世話になっている青年部OB、諸先輩方が多数御手伝いにこられ、例年通りの「スタッフ」も揃っていやがうえにも盛り上がり、準備も順調に整いました。



そうこうしているうちに午後三時には終了、引き続き打上げとなり、鳩を追う手拍子と、中ノ手拍子が重なる中、御開となりました。

今年も御手伝い、御参加よろしく願っています。

子供達が集まり、警視庁新宿警察署の交通紙芝居を見て、各コーナーから「さあーいらっしやい」の掛声。
特に、果物ゲームでは、野菜の高値続きのためか、「スイカよりキャベツ」「ブドウより茄子」という大人の声が聞こえ、子供達を押しのけて何回もチャレンジする熱く燃えるお母さん方の光景が印象的でした。

た。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

毎回多額の御寄附、本当にありがとうございます
青年部一同

祭 礼

定説通り、今年も雨

新谷 巧

町会の頂点である行事、それはやはり我々すべての協力で出来るお祭りではないでしょうか。年配の方々、中枢の方々、青年の人々がすべて参加し、時を同じくして出来る行事だと深く痛感します。

今回も、様々な事が五日間の間にありました。七丁目にある神話は今年も定説通り、設営の時から雨の中で今年の祭礼は始まり



ました。

新しい場所に移って二年目の神酒所はやり直しもなく、諸先輩方のスムーズな指導のおかげで準備が整いました。

今年も毎回のよう何らかのトラブルが発生しましたが、幾人もの自前の処理により事なきを得、解体の一日となりました。

何事も無く祭礼が運営され、無事に来年へ受け継がれ、この素晴らしいお祭りがいつまでも出来るよう願っているのは、私だけではなく皆なの願いだと思っています。

縁 日 寄 附 者

池田公保、滝良貞、川原康之、金子重昭、小島茂、笹生慎一郎、近藤隆二、森井光義、サン理容室、中村保信、田辺光夫、尾沢孝宜、林誠正、小林正典、中野正徳、石川慶太郎、加賀谷良平、小玉ランドリー、上野勝夫、林田正夫、清水貞明、宮島右近、佐藤昌之、渡辺勝栄、清水孝、佐々木憲一、新宿広小路会、新宿広小路会婦人部、川村勝小野沢富士雄、村上暢子、新井正夫(ギャザ)、河野洋寿、田中直久、高柳卓三、前波商店、半田弘、原伸夫、栗原伸夫、時屋、福村典義、井西将夫、小林孝一、小林六郎、丸山博朗、大塚敏男、春日一郎、鈴木松夫、会田友太郎、平田幸平、下道雅穂、松永啓二郎、桜井聖明、新宿広小路会青年部、桑原公平、小笠原幸徳、小林(千徳)、浅井憲龍(順不同、敬称略)

区民運動会

鉛色のち晴天へ

関根 利博

一昨年の十一月三日（文化の日）、西戸山運動公園で区民運動会が開かれ、家族で参加させてもらいました。

その数日前、濱田さんから「三日の運動会、出てくれよな」と脅され、失礼、頼まれ、大先輩の言葉にNOとは言えず、当日雨の降るのを願って首を縦に振りました。明けて三日の朝、（不幸にも）空は雲ひとつない快晴、私の心は鉛色。浮かぬ顔の妻と娘を車に乗せ、三十分かけて会場へ。会場へ着いてみれば濱田さんの顔は見えず、心は鉛色から真っ黒へ。「人を誘っておいで……」。しばらくしてやっと到着。一言、「遅刻か。まっいいや」。

雑談しているうちに競技開始。早々参加命令。重い足を引きずりながらスタートラインへ。

ピストルが鳴ったとたん、無我夢中、全

2人1組の秋



こんな表情みたことない

力疾走。綱引きなどでは全員が目をつり上げ、普段見たこともないような顔つきで綱を引く。負けた時は目一杯くやしがり、

「来年は練習してこよう」と一同一致。応援だけのはずだった妻や娘までも競技に参加、「ワーワー、キャーキャー」。競技ごとに頂ける景品やお菓子、オモチャなどにホクホク顔。

昼食をはさみ、競技の合間にはみんなで楽しく飲んだり食べたり。第二、第三会場では「竹馬」の講習、また、模擬店では「おもち」「焼そば」「わたがし」などが

あり、アツという間に楽しい一日が過ぎていました。帰り際に娘が、「お父さん、楽しかったネ。次もまた来ようネ」。朝とは全く別人の私（家族）がそこにあつたのです。両手一杯の景品やお菓子を車に積み、帰路につきました。

追伸Ⅱ翌日から二、三日間は筋肉痛に悩みました。皆さん、普段から適度な運動を。そして皆さん、一緒に参加しましょう。

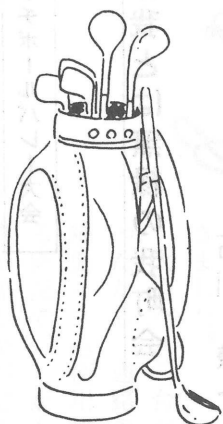
ゴルフ同好会

初陣飾れず！

土屋 三郎

青年部ゴルフコンペも十一回目となり、参加者も増えてますます充実してきましたが、まさか私が参加する事になろうとは思いませんでした。半年前、皆さんの前で生意気な事（100以上たたく人がいるとは思われない……等々）を言ったのが間違いの始まりでした。

昨年の四月十八日、参加者は二十四名。朝六時に常泉院前を出発し、茨城県のサザンヤードカントリークラブに七時過ぎに着きました。風は少しありましたが、絶好のゴルフ日和です。



いざコースを回り始めると、無我夢中でとにかく一ホール、一ホール、無事大タタキしない様、緊張の連続。楽しむ余裕もなく、グリーン上でキャディさんが、「スライスは右に曲がるんだっけ」などと、同会長長の濱田英世さんに聞くような状態でしたが、ハーフを終って54。これはなんとかなりそうだ、昼休み、悩んだ末にビールを飲み、アウトの一番に向いました。

464ヤード、パー5、ハンディキャップ1の難しいホールですが、四打でグリーンエッジまで飛び、濱田さんと同じ場所に付きました。濱田さんがピッチングでボンと打ってピン横に寄せたのを見て、私はパターで安全にと思い、チョココンと打つと、なんと、グリーンを横切って向かい側のバンカーに落ちてしまいました。

アラアラなどと訳の分からないことを言いながら、やっぱりビールは飲むべきではなかったか、などと考えるつも、冷静に、冷静にと思い直し、バンカーの一打目……出ません。

結局、公約は果たせず、皆に慰められたり、喜ばれたり、帰りの車中はゴルフ談議で盛り上がりました。



新宿に着くと、「ぼてじゃこ」で打上げパーティー。優勝した小林六郎さんから始まり、各順位の人々にたくさんの賞品が手渡されました。

会長の濱田さん、幹事の方々、大変お世話になりました。また、たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。次回も是非参加させていただきたいと思ひます。



第二回目のスキーツアー、場所は前回と同様白樺湖ホテル・イン・ワンですが、前回（三月十五日）と日時が異なり、一月三十一日というスキーには最高の時期にセットできました。

大型バス二台だったため、通路の補助イスも使用する盛況で、しかも、青年部の企画です。

スキーツアー

ゲレンデにシュプール

鎌田 雅

季節は暑い夏の盛り、クーラーをかけ、冷蔵庫で冷したビールを飲みながら、あの楽しかったスキーの想い出をつづりたいと思います。



将来のオリンピック選手へゴー

飲物、食べ物をたくさん持ち込んで、伊勢啓中村屋さんの前を定刻通り出発です。

途中の中央高速もつつがなく、スキー場に到着すると前回同様、青年部役員の方々が休憩室の確保はもちろん、レンタルスキー、ウェア、スキーセット等準備万端、要領良く整えてありました。

ゲレンデに出ると雪質は最高で、踏み締めるとそのたびにキュツ、キュツと鳴くパウダースノーです。上級、中級の腕自慢（足自慢というべきか？）の方々は自由にリフトを乗り継いで高い所から滑り、初級者はスキー教室に入って将来の国体、オリンピック選手を目指す。どの顔も真剣そのものです。

スポーツの後は一段とおながすきます。屋食は普通の日よりボリュームは自然と増

していたようです。

大人の方々には飲物が十分に用意されています。休憩室はもちろん、ゲレンデの中央付近にもあり、そこはあたかもマラソンの飲料水補給所のごときです。

アツというような短い一日でした。子供達はお土産、記念写真等を買ひもとめ帰路につきましました。

さすがに車中は静かです。疲れのためか、皆さん心地よい眠りについているようです。隅の方では宴会を始められている方々もいるようです。

そうこうしているうちに、無事、新宿に着きました。皆様、本当にお疲れさまでした。次回も多数の御参加をお待ちしております。

スキーバス			
収入金		支出金	
会費	466,000		728,980
寄附金	95,000		
部費	167,980		
	728,980		728,980

ビーチボールバレー大会

怪我とは無縁の我町会

石川 謙一

一昨年の十一月一日、日曜日、我が名門「淀橋中学校」で、毎年開催されている新宿区主催の「ビーチボール大会並びに輪投げ大会」に参加して思うに、まずは怪我の無いことが一番と思うのは私だけだろうか。

特に、ビーチバレーは一回戦、二回戦とプレーをするたびに、普段体を動かしていない参加者はもちろんのこと、常に運動して体を作っている人も皆さんエキサイト、サーブ、アタック、ブロックと力の入ったプレーになり、怪我の元となるため注意が必要であるように思われた。

我町会のメンバーは、参加することを一番の目標としているため、食べ飲み（もちろんのこと、酒類などは持ち込んではいないハズだが……）しながらの参加であるため、怪我とは無縁である。

今回、我七丁目町会は、ビーチバレーで堂々の三位入賞となり、参加者の健闘は大

いに称えられる。しかし、輪投げの部では、今回は残念ながら入賞をのがした。

大会終了後、「にいむら」で慰労会ならぬ飲食会を開き、飲んで、食べて、喋って楽しいひとときを過ごした。



大会に参加していただいた町会の方々、並びに役員の方々、大変御苦労さまでした。次回もまた楽しい大会にしたいものです。

カラオケ大会

40人が自慢の喉

田中 伸幸

祭り最後のイベント「カラオケ大会」が、一昨年九月二十五日午後六時から始まった。私は受付を仰せつかったので、受付開始時間に会場の柏木公園に行くと、すでに数

人の予約が入っていた。席に付くとすぐに何人も申し込みが入るカラオケ大会の人気。考えてみれば大変なものである（景品が目当てかも……）。



まず、最初は子供達の歌からスタートした。みんな一所懸命歌い、お菓子を貰ってうれしそう。

そのあと各自が自慢の喉を披露、途中、「御神還し」で一時中断したが、九時半まで四十人余りの歌手（？）の歌声が柏木公園に響き渡り、大いに盛り上がりを見せた。残った景品は公園に集まった人達に抽選で配られ、両手に景品を抱えて家路につく人々の笑顔がとても印象的だった。

また次回も、多くの人々の参加がありま

クリスマスパーティー

お花畑でルンルン

林 英夫

一昨年の十二月十三日(日)、「さかの」さんの地下でクリスマスパーティーを行いました。

今回は夫婦での参加者も多く、とても華やいだ雰囲気になっておりましたが、子供達の参加も多く、子供達中心のパーティーになりました。また、参加した子供達はほとんどが女の子で、我が青年部の男の数より女性のほうが断然多く、満開の花と蕾の花が咲き乱れ、会場はまるでお花畑のようでした。

蕾の連中は楽しくはしゃぎまわり、格言う私の娘三人はまるで我が家のごとく暴れまわっておりました。



夫婦デュオに娘もウツトリ

恒例のカラオケ大会。子供達の「オン・ステージ」。

私の次女(四歳)は、「お父さん、青年部って楽しいんだネ!。今度は夜の青年部の時も、一所懸命起きているから一緒に連れて行ってネ!」。

オイオイ、違うぞ。いつもこんなことは



若い女性で満開の花

してないぞ、と言いかけたら、女房が追い打ち。

「そうなのヨ!。だからお父さんは青年部に行く時、いつもルンルンしながら行くんだヨ!」。

次女は私の方を見て笑っていました。オイオイ、違うんだゾー!!